

磐梯山火山防災マップの公表をめぐって

村山良之・小野 済・小林 勉・山本良子
(東北大学・理学研究科・地理学教室)

2001年5月磐梯山火山防災マップ公表

住民や観光業者の反応 (理解、効果、その他)
マップの内容、公表の方法

調査期間 2002年6月～7月
対象地域 猪苗代町、磐梯町、北塩原村
対象者 防災担当者、区長、住民
方法 聞き取り、アンケート

東北大学地理学教室3年生の野外実習
小野 済・小林 勉・山本良子

磐梯山火山防災マップ公表の経緯

- 2000/06/01 火山観測情報第1号「5/20ころから火山性地震増加」
以後、福島気象台観測体制強化 07/10 火山性地震 72回 07/29 84回
- 08/14 火山性地震176回
- 08/15 火山性地震403回 (有感2回)
- 08/16 臨時火山情報第1号
「山頂での小規模な噴火の可能性も否定できない」
- 08/17 県「山頂からおおむね2kmの範囲、入山規制必要」
- 08/24 磐梯山火山防災連絡会議 防災マップ作成連絡会議 8市町村等
- 09/11 猪苗代町 避難マップ(避難所 避難時の注意事項)配布
- 09/23 3町村長 登山規制解除
- 2001/05/29 磐梯山火山防災マップ公表
- 2002/04/19 定期的火山観測情報終了

福島県HP、猪苗代町聞き取り、同町資料による



このマップは、磐梯山が噴火した際、火山災害が及ぶ可能性のある区域を示しています。しかし1888年の噴火(磐梯山の北側から東側にかけて大きな災害をもたらしました)を見ても、この範囲全て被害を受けるということではなく、前に示したとおり可能性のある区域全てを表しています。
噴火の想定としては、火砕流や溶岩流のようなマグマ動員を伴わない水蒸気爆発で、降灰、降灰後の土石流、融雪による火山泥流、斜面崩壊などの現象が想定されます。また、想定される噴火口は2ヶ所であり、噴気活動が活発な鍋沼及び沼ノ平です。

- 火山情報の種類** 緊急火山情報：生命、身体に関わる火山活動が発生した場合に発表します。
- 臨時火山情報**：火山活動に異常が発生し、注意が必要ときに臨時発表します。
- 火山観測情報**：緊急火山情報、臨時火山情報の補足等、火山活動の状況をきめ細かく発表します。
- 定額火山情報**：常時観測対象について、火山活動の状況を定期的に発表します。

磐梯山の火山活動に関するお問い合わせ テレホンサービス TEL:0242-72-1560
猪苗代町 (TEL:0242-62-2111) <http://www.city.imaichi.fukushima.jp/>
磐梯町 (TEL:0242-72-4211) <http://www.city.imaichi.fukushima.jp/>
北塩原村 (TEL:0241-23-3111) <http://www.vill.kitashirahara.fukushima.jp/>

磐梯山火山防災ハンドブックp.6 および猪苗代町HPによる

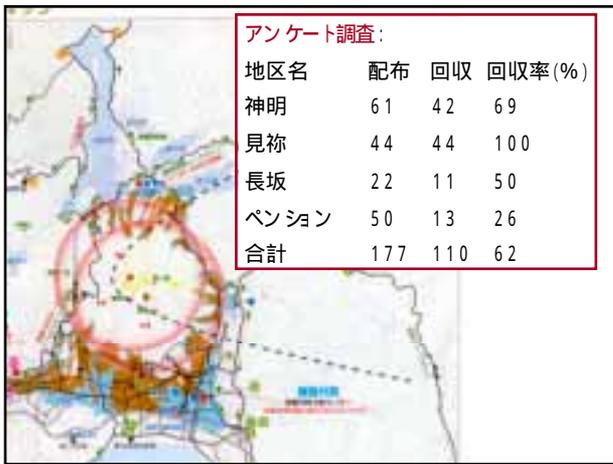
聞き取り調査:

調査期間 2002年6月3日～6日
対象 猪苗代町・磐梯町 防災担当者
猪苗代町・北塩原村 ペンション経営者
猪苗代町 神明・美祢地区 区長

アンケート調査:

調査期間 2002年6月～7月
対象 猪苗代町 神明・美祢・長坂地区 住民 (留置)
猪苗代町・北塩原村 ペンション経営者 (郵送)

3町村の人口 (2000年国調)	猪苗代町	18,178 人
	磐梯町	4,109
	北塩原村	3,644



猪苗代町

防災マップの配布・公表方法
 住民説明会(6月上旬から20回開催)参加者に配布
 不参加者には区長を通して配布

その後観光業者にも同様の説明会開催
 客に見えるように貼ることを依頼

避難情報提供
 防災行政無線:観光施設、公共施設、区長宅、屋外SP
 2006年更新時に各世帯に設置を検討

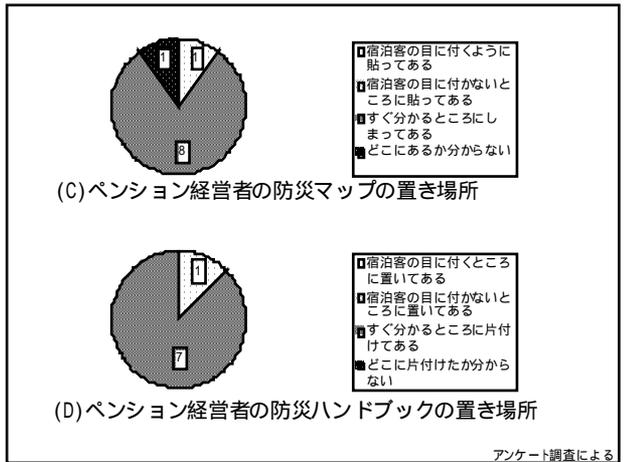
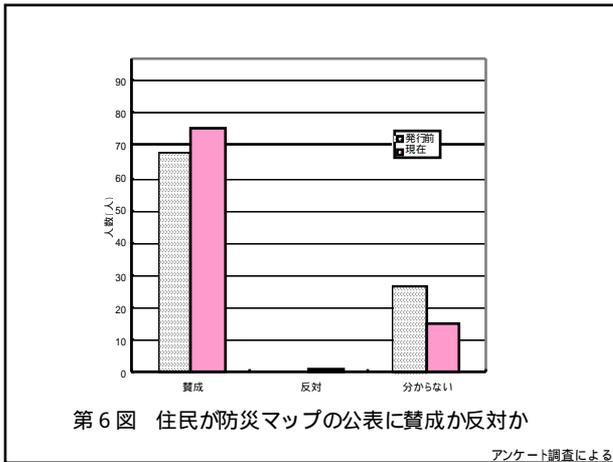
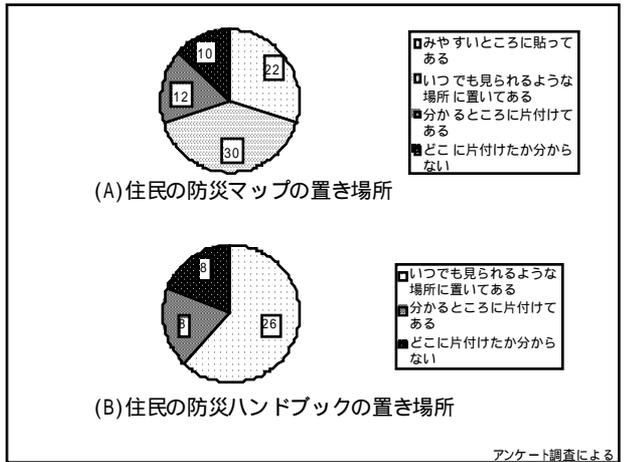
聞き取り調査による

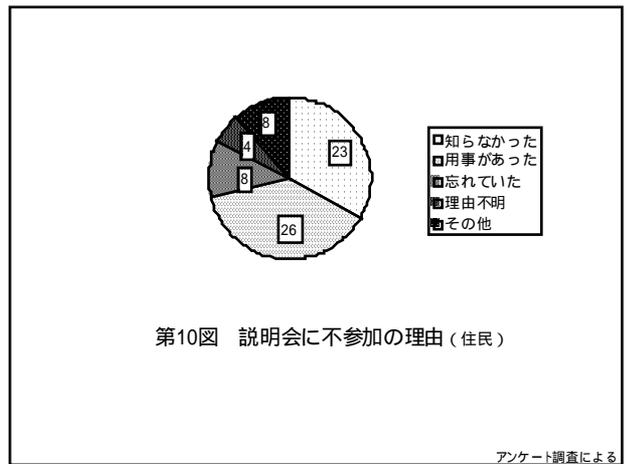
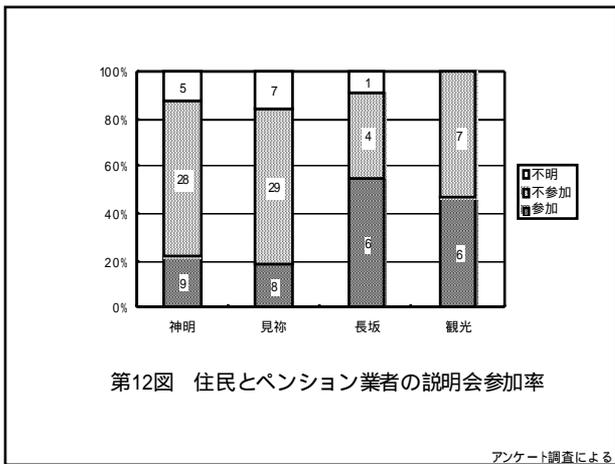
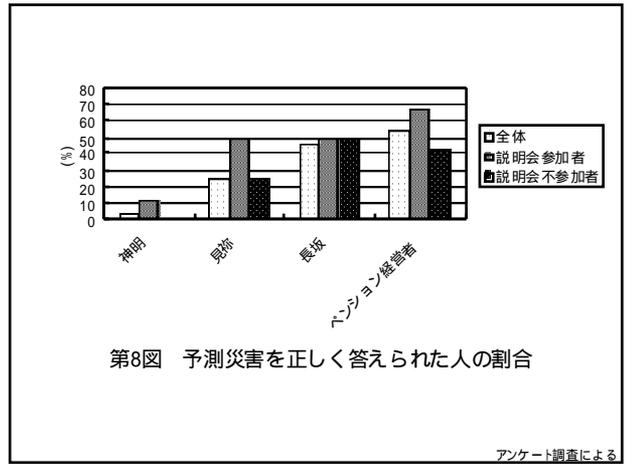
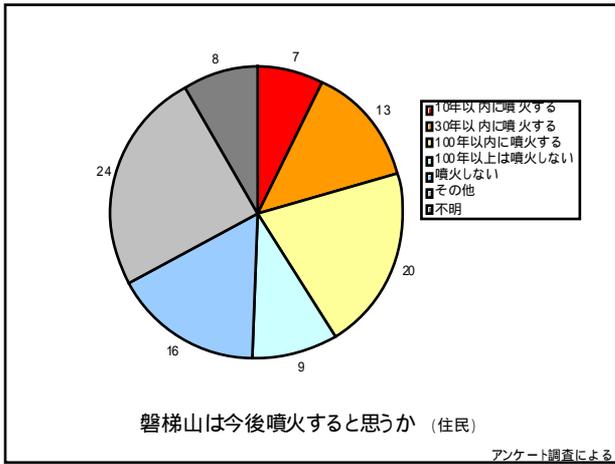
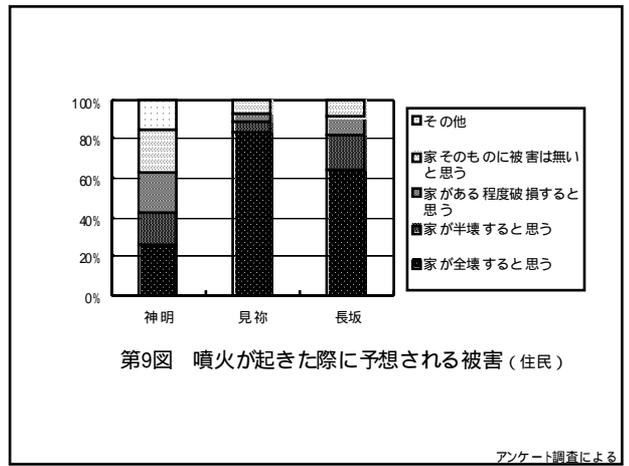
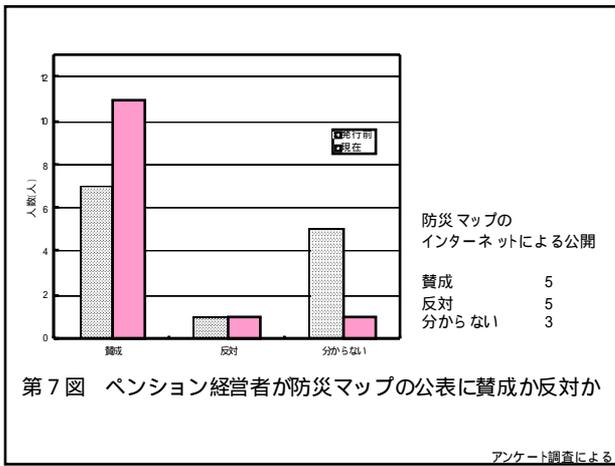
磐梯町

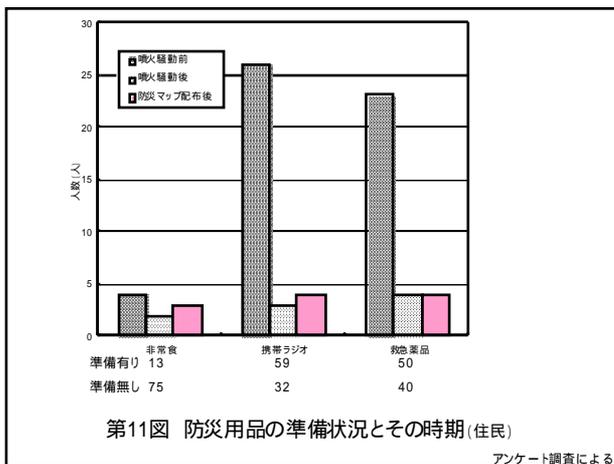
防災マップの配布・公表方法
 区長説明会(5月29日)で区長に配布
 住民には(6月1日)区長を通して配布
 5地区で住民説明会開催
 他に観光業者・企業説明会を5回ほど開催

避難情報提供
 防災行政無線:各世帯に設置、屋外SP(1989年から運用)

聞き取り調査による

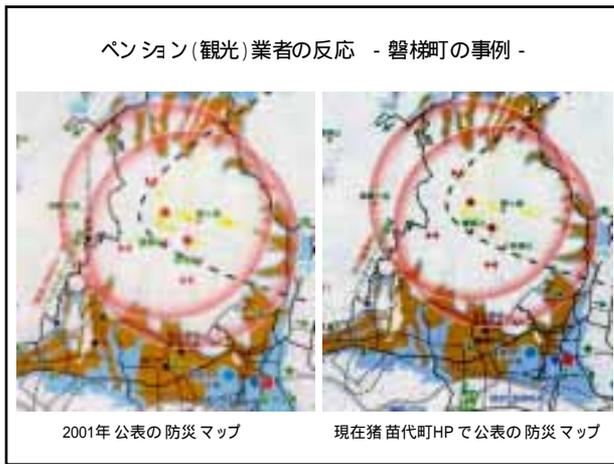






- まとめ
1. 防災マップの公表
住民、ペンション業者 おおむね好意的
ただしペンション業者の気持ちは多様で複雑
 2. マップ内容の理解
必ずしも高いとはいえない

理由 マップの**内容と表現** (例 融雪泥流?、縮尺)
実感(切迫感)がない (1888年、2000年噴火騒ぎ?)
理解に効果のある**説明会**への参加が少ない
開催方法、時間帯など工夫が必要
 3. マップ公表の効果
避難準備行動に若干の効果



背景・原因として考えられること

防災マップの地名記載問題

2000年噴火騒ぎによる「風評被害」
(不況による影響に加えて)

町当局と観光業者の火山(災害)理解・防災方針